

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームやすらぎの家

作成日 : 平成 25年 11月 29日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	①災害対策面で、職員の不安や地域との協力支援体制が築けていない。 ②災害対策における食料・水・毛布・おむつなど備蓄について、整備が出来ていない為事業所で備蓄する必要がある。	①職員全員が防災に対する意識と知識を持ち、地域住民の方達にも協力していただける関係作りを行っていく。 ②備蓄品の準備を行う。	①事業所だけではなく、南風原地区の職員やその家族に、避難訓練への参加や災害対策への協力体制を受ける。 ②最低7日分の食料や水の確保と布団やおむつを備えて、事業所に保管する。	6ヶ月
2	26	個々のアセスメントやモニタリングが不十分のため、現状に即した介護計画書となっていない。	毎日の介護記録や介護計画書に整合性がとれて、個別の認知症介護サービス計画書が作成できるようにする。	毎日の介護記録は本人の活動内容や思いを詳しく記述し、記録を充実する。 計画作成担当者と介護職員が、共通した介護計画書の流れを理解する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。